

部門/会場	リーダー氏名	サブリーダー氏名		
10階 1009号室	パストガバナー 福家 宏	次年度国際奉仕委員長 地区研修委員 次年度地区補助金管理小 委員長	木田 昌宏 安井 一男 今西 良介	吹田西 新大阪 大阪南
議事録作成者	担当副SAA 田村 隆			

開会：(15時30分)
国際奉仕部門SAA 深井 喜久
【内容】 本日の配布資料の確認
発表者：地区国際奉仕副委員長 前田 要之助 (15時32分)
【内容】 出席役員・委員の紹介 本日の司会
発表者：次年度地区国際奉仕委員長 木田 昌宏 (15時37分)
【内容】 開会挨拶に続き、国際奉仕についての説明。地区委員会の果たすべき目標は、委員会での自己の言動の成果を各クラブへ還元することである。最近グローバル補助金を使う機会も増えてきた。地区とクラブのつながりを大切に、必要な情報を提供させて頂く。国際奉仕活動については、時間や経費がかかるということからなかなか踏み出せないところもあると思うが、やり遂げた時の達成感が大きく、国際奉仕こそがロータリーの素晴らしさと考えてよい。100年前のアーチクランプ国際RC会長のビジョンは今も息づいている。ビジョンを行動に移してこそ、ロータリーである。
発表者：ロータリー財団補助金小委員長 今西 良介 (15時55分)
【内容】 補助金について、補助金を申請する際の注意事項やポイント等についての解説。およそ30件の地区補助金の審査と10件のグローバル補助金の審査を行っている。地区補助金(DG)とグローバル補助金(GG)について、地区補助金はクラブが地区に申請するものだがグローバル補助金はクラブが財団に申請する。財団が定めたガイドラインに沿うことが求められる。地区補助金よりも大きな金額になる、など。地区補助金はロータリーの無い国でも適用できる、物品のみでも可、など。注意点としては通帳の流れを見られること、財団承認前に経費が発生してはならないなどがある。利害の対立という考え方についてもよく理解しておく必要がある。申請スケジュールの説明や、審査が通りやすいポイントなどを分かりやすく説明して頂いた。

発表者：次年度地区国際奉仕副委員長 宮崎 正人	(16時25分)
【内容】グローバル補助金を使用した国際奉仕の事例発表。その魅力のご紹介。「台湾肝臓病撲滅プロジェクト（高槻東ロータリークラブ）について。台湾クラブからの提案があり、共同提唱した。多くのクラブに少額の補助を頂き、総額50万ドルもの大きなプロジェクトとなった。肝臓病検査の採血検査だけでも10地区（約1万人）を対象とし、18か月の歳月を要した。チャレンジし、そのプロセスを楽しんで頂くことも重要である。	
発表者：地区国際奉仕委員 中尾 功	(16時40分)
【内容】グローバル補助金を使用した国際奉仕の事例発表。「先天性免疫不全乳児救済プロジェクト（摂津ロータリークラブ）について。建物などだけでは対象とならない。今回は血液スクリーニング機器の贈呈を実施した。6つの重点分野の説明や、プロジェクトの予算調達として摂津ロータリークラブで3000ドル、その他。これが総額6万8000ドルもの事業となったことなどをご紹介頂いた。	
発表者：パストガバナー 福家 宏	(16時55分)
【内容】講評。今日の基調講演では国際奉仕とはいかなるものか、その意義について考えさせられた。本協議会では、まず委員会の役割・サポートについての説明があり、財団からの発表では、当地区は約30の地区補助金、10のグローバル補助金という日本有数の活発な地区であり、今後さらに盛り上げていきたいと考える。その後補助金マジックについてもご教示頂けた（2千ドルが50万ドルへ）。まだ補助金を使ったことのないクラブもあるが、今日の話をも参考にして是非取り組んで頂きたい。	
閉会（	17時 00分）